|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 4 | 余震について | について |
|  | 大地震から１か月が経ちましたが、まだまだ余震が続いて不安に思う人も多いと思います。 最初の大きな地震を本震、その後に引き続き起こる地震を余震といいます。  余震の数は時間が経つほど減ってきていますが、今後も時々大きな余震が発生することがあります。また離れた地域でも余震が起きることがあります。  本震や余震によって強い揺れとなった地域では、今後発生する余震によって家屋の倒壊や土砂崩れなど、さらに被害が拡大するおそれがありますので、壊れかけた家や崖などには近づかないようにしてください。 また大きな余震で津波が起こることもありますので、津波警報や津波注意報にも注意してください。 | ＜でる＞にをつけてください  から１がぎました。  でも、がいています。  めのきいのはです。  そのでるのはです。  はからがてばつほどなくなります。  でも、これからもときどききいがあるかもしれません。  があったからくてもがあるかもしれません。  にをつけてください。  ○れたのくにかないでください。れたがでもっとれるかもしれません。  ○のくにかないでください。がでれてたくさんのやとてもきいがれてきたりからちてきたりするかもしれません。  ○きいがあったら、のくからげてください。きいでがるかもしれません。がるとき、とでおらせします。きいがあって、とがたら、のくからすぐにげてください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 4 | 余震について | 余震（よしん）について |
| 大地震から１か月が経ちましたが、まだまだ余震が続いて不安に思う人も多いと思います。 最初の大きな地震を本震、その後に引き続き起こる地震を余震といいます。  余震の数は時間が経つほど減ってきていますが、今後も時々大きな余震が発生することがあります。また離れた地域でも余震が起きることがあります。  本震や余震によって強い揺れとなった地域では、今後発生する余震によって家屋の倒壊や土砂崩れなど、さらに被害が拡大するおそれがありますので、壊れかけた家や崖などには近づかないようにしてください。 また大きな余震で津波が起こることもありますので、津波警報や津波注意報にも注意してください。 | 余震(よしん)＜後(あと)で来(く)る地震(じしん)＞に気(き)をつけてください  地震（じしん）から１ヶ月(かげつ)が過(す)ぎました。  でも、余震(よしん)が続(つづ)いています。  初(はじ)めの大(おお)きい地震(じしん)の名前(なまえ)は本震(ほんしん)です。  その後(あと)で来(く)る地震(じしん)の名前(なまえ)は余震(よしん)です。  余震(よしん)は本震(ほんしん)から時間(じかん)が経(た)てば経(た)つほど少(すく)なくなります。  でも、これからもときどき大(おお)きい余震(よしん)があるかもしれません。  本震(ほんしん)があった場所（ばしょ）から遠(とお)くても余震(よしん)があるかもしれません。  余震(よしん)に気(き)をつけてください。  ○壊(こわ)れた家(いえ)の近(ちか)くに行(い)かないでください。壊(こわ)れた家(いえ)が余震(よしん)でもっと壊(こわ)れるかもしれません。  ○崖(がけ)の近(ちか)くに行(い)かないでください。崖(がけ)が余震(よしん)で崩(くず)れてたくさんの土(つち)やとても大(おお)きい石(いし)が流(なが)れてきたり上(うえ)から落(お)ちてきたりするかもしれません。  ○大(おお)きい余震(よしん)があったら、海(うみ)の近(ちか)くから逃(に)げてください。大(おお)きい余震(よしん)で津波(つなみ)が来(く)るかもしれません。津波(つなみ)が来(く)るとき、津波警報(つなみけいほう)と津波注意報(つなみちゅういほう)でお知(し)らせします。大(おお)きい余震(よしん)があって、津波警報(つなみけいほう)と津波注意報(つなみちゅういほう)が出(で)たら、海(うみ)の近(ちか)くからすぐに逃(に)げてください。 |